

福祉のひろば

2024.8
73

「福祉のひろば」へのご意見募集中!



アンケート入力フォームから広報紙へのご意見をぜひお寄せください!
記事の感想や掲載してほしいことなど
みなさまの声をお待ちしています!

青森県社協ウェブサイト

「福祉ネットあomorい」はこちら →

URL <http://aosyakyo.or.jp/>



P2-3 特集

災害発生!被災者を支える福祉とボランティアの活動 ～令和6年能登半島地震における支援活動から～

災害時における青森県社協と市町村社協、社会福祉法人の連携による支援活動がどのように展開されているかを能登半島地震の活動報告から紹介いたします。

P5 ボランティア活動情報

こども食堂
+みんなの食堂
Mother Tree Café



十和田市で活動する「こども食堂+みんなの食堂Mother Tree Café」の取り組みについて、代表の村山さんにお話を伺いました!

P9 福祉の担い手に聞く!

ふくしワークLINE



- ・福祉の仕事“あれこれ”出前講座 始まりました
- ・保育士向け就職サポート講座&相談会
福祉・保育のしごとに興味のある方に向けた情報をお知らせ!

P10 みなさまの善意に感謝!

県社協への寄附・善意銀行への預託のご紹介と寄附金の災害支援への活用についてをご紹介します!

P6-7 発信!県社協

- ・自立に向けた相談窓口のご案内
- ・令和6年度 法人運営セミナー開催 ぜひご参加ください
- ・青森県災害福祉支援チーム 青森DCATとは

県社協が取り組んでいる活動をご紹介します!

P11 スポットライト

十和田市社会福祉協議会 嶋 健太郎 さん
県内の福祉の現場で活躍している人物をご紹介します!

P12 県社協から

福祉事業所で働く職員を応援!
こんな研修やっています!

災害発生！被災者を支える福祉とボランティアの活動 ～令和6年能登半島地震における支援活動から～

今回の特集では、災害時における青森県社協と市町村社協、社会福祉法人の連携による支援活動がどのように展開されているかを能登半島地震の活動報告から紹介いたします。

災害時の福祉・ボランティアの支援

平成7年阪神・淡路大震災でボランティアが支援活動を展開したことを契機に現在では「社協＝災害ボランティアセンター（以下「災害VC」）」と定着するようになりました。また、平成23年東日本大震災では高齢者や障がい者などの災害時要配慮者が慣れない避難所等で生活を送るうえで様々な生活課題が確認されたほか、それらを支援するマンパワーも不足したことから、発災直後から福祉・介護人材を確保し、避難所等における災害時要配慮者の福祉的課題に対応するため、本県では平成28年に青森県災害福祉支援チーム（以下「青森DCAT」）が創設されました。

ここから令和6年能登半島地震で現地支援を行った方々から伺ったお話をもとにそれぞれの活動内容、役割等を紹介していきます。

県市町村社協による応援職員派遣

災害VCは被災した市町村社協が設置・運営をしますが、社協職員が被災している場合もある中で通常業務のほか、地域住民の見守り、安否確認等災害に伴う業務に追われるため、多忙を極め、心身ともに疲弊してしまいます。

そこで社協は、全国ネットワークを活かし、被災社協を支援するための応援職員の派遣を行っており、能登半島地震では石川県内災害VCに全国の社協職員8,000人以上が派遣されました。青森県からも市町村社協に協力を依頼し、令和6年6月末で23人の社協職員が派遣されています。今回は石川県志賀町災害VCの応援派遣に二度にわたり協力をいただいた平内町社協の井筒健一さんにお話を伺いました。

インタビュー 平内町社会福祉協議会 井筒 健一さん

地元社協職員と災害VC

2月18日、青森県で最初の応援職員として石川県志賀町災害VCに派遣されました。当初はボランティアへの活動資機材の受け渡しを志賀町社協職員が担当していましたが「これは応援職員が担当した方がいい」と考え担当職員に提案、資機材班を新設し応援職員が担当する役割となりました。

資機材を担当していた職員は統括業務もこなしており、かなり多忙な印象を受けました。地元社協職員は災害VC運営だけでなく普段の社協業務も並行して行っているため、応援職員が担当業務を代わることで負担が軽減されると考えました。

あくまでも手助けとなれるように

災害VC応援派遣で心掛けているのは「最小限の提案」です。災害VCの業務は臨機応変に対応しながら、あくまでも地元社協の手助けとなれるようにということを大事にしています。「この作業は応援職員で回せそうですよ」くらいに提案することで「じゃあ頼むよ」と言っただきながら、地元社協職員が通常業務をしたり、休んだりできる時間を取れる環境につながればと思っています。

二度目の派遣となった5月でも志賀町では倒壊した家屋や応急危険度判定結果が貼られたままの住宅もありました。被災地の住民や社協が一日でも早く落ち着きを取り戻せることを願います。



資機材の記録をとっている井筒さん（中央）

災害に備えた県社協の取り組み ～災害資機材ストックヤードと連携協定～

青森県社協では令和5年度に市町村社協と連携し県内6圏域に災害VCで使用する資機材を保管するストックヤードを設置しました。

設置のきっかけは、青森県内で初めて同時多発・広域的に災害VCを設置した令和4年の津軽地方での豪雨災害です。今後も広域的な災害の発生が想定されるなか、ストックヤードの設置は、発災時に迅速に資機材を確保・提供するほか広域的な連携支援を目的としています。

ストックヤード設置に伴い、県社協と40市町村社協で「災害時相互応援協定」を締結しました。資機材の運搬については青森県生活協同組合連合会と「災害VC支援に関する協定」を締結し、関係団体と連携するなど災害支援を目的とした協働の体制づくりが広がっています。



災害資機材ストックヤードを設置した6圏域



ストックヤードにはバケツやスコップ等を保管している

青森県災害福祉支援チーム『青森DCAT』

災害発生に伴って設置される避難所。避難所で生活する高齢者や障がい者などを支援するために派遣されるのが「災害福祉支援チーム」と呼ばれる福祉専門職のチームです。能登半島地震では全国で5,000人以上のチーム員が派遣され、青森県からも25人の青森DCATのチーム員が石川県内の避難所に派遣されました。

今回は七尾市に派遣された徳誠福祉会の工藤 祐輝さんと藤聖母園の斉藤 和実さんにお話を伺いました。

インタビュー

社会福祉法人徳誠福祉会 工藤 祐輝さん

被災地のサポートを意識して

発災直後から覚悟はできており、家族と法人には派遣について早急に了承を得ました。青森DCATとして初の派遣でしたが、チーム員と一緒に研修を受けた顔なじみで、事務局も帯同していたため、情報が少ない中でも安心して支援活動に入ることができました。本チームの役目は、最終的には地元へ返すこと。全て「やってあげる」ではなく、あくまでもサポートに徹しました。その下地として避難所の運営者との信頼関係を意識して活動しました。初日から支援物資を整理し、避難者のやすらぎの場、子どもの遊び場となるスペースを作ることもできました。子どもの元気な声が運営者の力になることを実感しました。今回の経験を「良い経験」で終わらせず、日頃から備え、地域や施設に還元できるように、青森DCATの広啓啓発も兼ねて取り組んでいきたいです。



避難所相談窓口。記録を取っている工藤さん（右）

インタビュー

社会福祉法人藤聖母園 斉藤 和実さん

情報共有と連携の重要性

リーダーとして派遣されたため、チーム員の専門分野（高齢・障がい・児童）や長所を現場で発揮できるようなチーム作りを意識して現地入りしました。

避難所には多くの支援チームが入っており、連携から生まれた支援が多くありました。トイレの排水は井戸水からホースで引いていましたが、出入りする動線上にホースが置かれていたため、J R A T（リハビリチーム）と話し合い、環境整備が得意なチーム員がホースを壁に沿わせる等しました。また災害支援ナースから、「「頑張れと書かれたポスターを見るのが辛い」という話を避難者から聞いた」と情報提供があったため、避難所運営者やチーム員等と相談し、「くっぱれ」に変えました。避難所の生活環境改善につなげられたのも、チーム員同士、あるいは多職種の支援チーム間で情報共有・連携ができたからだと思えます。



避難生活を送っているお子さんを支援する斉藤さん

高めよう『受援力！～外部の支援・援助を受ける力～』

能登半島地震では大規模災害により同時多発・広域的に避難所や災害VCが設置され、多くの外部支援が現在でも継続して入っております。青森県でも「いつどのような災害」が発生するかわかりません。日頃からの備えとして平時から市町村社協や行政、関係団体と情報共有し、広域的に連携協働できる体制づくりと、「受援力～外部の支援・援助を受ける力～」が重要となります。

能登半島地震での災害VC運営、DCAT（DWAT）派遣は、全国47都道府県から支援が入っており、「受援力」の重要性を改めて感じました。全国の社協や関係機関、団体、多職種チームからの支援を効果的に受け、住民の生活支援につなげるためには研修や訓練はもとより、平時の『つながり』が重要となります。我々福祉関係者はこのつながりを強め、緊急時には勇気を出して「助けて」を発信し、外部支援を快く受け入れることができる体制づくりをすることによって、本当の意味での「災害に強い青森県」を目指していきたいと感じています。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償(*)		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

取扱代理店 株式会社 **福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



十和田市「こども食堂+みんなの食堂Mother Tree Café」

●マザーツリーの下に

十和田市で「こども食堂+みんなの食堂Mother Tree Cafe」を開催している村山さんの好きな樹がマザーツリー。



代表の村山さん

周囲にひきこもりの方がいるのを知って、居場所を提供したいと考えていた村山さん。「子どもたちがすくすくと育ってくれるように」という願いを込めて「マザーツリーカフェ」と名付け、令和5年11月に活動を始めました。

●誰が来てもいい場所

「こどもも大人も高齢者も誰が来てもいい場所です。毎回30人ほどが集まっていますが、今はまだ子どもが少ないと感じていますので、もっと子どもたちが来てくれたらいいなと思っています」と村山さん。

チラシを小・中学校や教育委員会、保健センター、マザーツリーカフェの会員の方の知り合いへ配布したり、道の駅等にも置いてもらっており、「もっともっと参加者を増やしたいです」と意気込んでいます。

●たくさんの人に支えられて

友人やこどもの友達のお母さんたちに声をかけをし、ボランティアとして一緒に活動をしています。調理は1組3~4人で行っており、ほか会員やボランティア約20人で運営しており、「みんな信頼できる人」と村山さんは頼りにしています。

開催場所である相談・交流スペース「みつば」は、社会福祉法人至誠会が、会場と光熱水費等の使用料を

無償で貸してくださっているとのこと。

コーヒーショップで不要になったコーヒー豆をいただき、自家焙煎して消臭剤を手作りして販売し、運営費の一部としています。さらに、入口に募金箱を設置し、寄付も募っています。



自家焙煎して手作りするコーヒー消臭剤の売上が活動資金に

●居場所をもっと広げたい

村山さんは「今後は地域に出向いて居場所を開催したいと考えています」と今後の夢を話しています。「ボランティアも高校生などに声をかけて、いろんな人が関わる居場所にしていきたいと考えています」

- 毎週土曜日11:30~14:30、第4土曜日は料理等体験日（第5土曜日はお休み）
- 相談・交流スペース「みつば」内
（十和田市東三番町9-71）
- 子どもから高齢者までどなたでも参加可能。予約制ではないのでいつでも来てもOK
- 高校生以下無料、大人300円
- 連絡先 090-5187-5170（村山さん）

地域に根差したさまざまな製品を
確かな企画力と生産技術でお届けします。

青森コロニー印刷
<http://aomoricolony.jp/>

■営業本部 〒030-0943 青森市幸畑字松元62-3 TEL(017)738-2021・FAX(017)738-6753
■八戸営業所 〒039-1164 八戸市下長6丁目11-13 TEL(0178)29-1001・FAX(0178)29-1003
■東京営業所 〒165-0023 東京都中野区江原町2-6-2 TEL(03)5996-2761・FAX(03)5996-2760

商業デザイン
(企画・提案・作成他)

総合印刷
(チラシ・厚紙印刷・UV印刷
パンフレット・ポスター他)

ネットワーク構築・
システム構築

ホームページ作成・
CD-ROM作成

オンデマンド印刷・
シール印刷

圧着ハガキ・DM・
タンザックカレンダー



事業紹介

自立に向けた相談窓口のご案内

平成27年度からスタートした生活困窮者自立相談支援事業も今年度で10年目を迎えました。

県社協では、東・中南・西北・上北・下北地域に専門の相談窓口を設置しており、各窓口の相談員が生活にお困りの方からの相談を受け付けているほか、自立を図るための様々な支援を実施しています。

相談者の多くは、就労や家計、債務、家族関係など複合的な課題があり、その解決に向けては関係機関との連携や支援が必要不可欠となります。

そのため、5月、管内の役場、社協、福祉事務所等の参加を得て、「自立相談支援事業推進会議」を開催しました。事業内容の理解と相談者のつなぎ方の確認



等を行い、生活困窮者の早期発見と早期支援の体制づくりに努めています。

「何をどうすればいいかわからない」とお困りの方や、支援に悩んでいる関係機関の方々は、ぜひご相談ください。

「一人で悩んでいませんか？」

自立に向けた相談窓口のご案内

あなたの生活の「やぶご」と「心配」

- 仕事がなかなか決まらない
- 仕事が長続きしない
- 高齢だけど働いて収入を得たい
- 社会参加してなにに役に立ちたい
- 家計が毎月赤字どうしよう… (家計が心配)
- うちの息子がずっと働かないで家にいる。将来どうしよう…
- 借金が多すぎる (債務が心配)
- 医療費や税金、家賃や公共料金が払えない (生活が心配)
- 病気で生活に困っている (健康が心配)

相談方法

次に掲載する各相談窓口で、あなたが現在住んでいる(所在する)町村を所管する相談窓口にご相談ください。

対象地域をご確認ください。

東地域総合相談窓口 青森市中央3丁目20番30号 東沢地区の2つの生活福祉協議会管内 対象地域 平内町・少部町・蓮田村・外ヶ浜町 直通 017-752-1888 FAX 017-764-6908	中南地域総合相談窓口 鹿野町鹿野町西田田1-3 鹿野町生活福祉協議会管内 対象地域 西鹿野村・檜崎町・大崎町・田舎館村・檜崎町 直通 0172-88-8637 FAX 0172-88-6899	
西北地域自立相談窓口 五所川原市相模町2-3 相模町生活福祉協議会管内 対象地域 相模町・深浦町・豊田町・中泊町 直通 0173-26-1202 FAX 0173-26-1203	上北地域自立相談窓口 上北郡七戸町字七戸198-2 対象地域 野辺地町・七戸町・六戸町・横浜町・東成町・沢井村 直通 0176-27-5630 FAX 0176-27-5631	下北地域自立相談窓口 むつ市中央一丁目1番1号 むつ市社会福祉協議会管内 対象地域 大間町・東通村・黒川町・佐井村 直通 017-764-6906 FAX 017-764-6907

活用ください

令和6年度 法人運営セミナー開催 ぜひご参加ください

総務課では、会員法人の皆様の職場で役立つ研修会として、今年度は2つのセミナーを企画しました。毎年、参加者の皆様からは「職場ですぐに活かそう」「新たな発見・学びがありました」と好評を得ています。全国クラスの講師を県内で受講できる機会として、是非ご活用いただければと思います。

福祉の職場の接遇リーダー研修

日 時：令和6年9月12日(木)
 会 場：アピオあおもり
 対 象：県内福祉事業所のリーダー、中堅職員 等
 定 員：50人
 講 師：(株)セミナー東北

専任講師 鎌田 昌子 氏
 参加費：会 員 5,000円、非会員 8,000円
 内 容：・基本のマナー、ルール

- ・思いやりのコミュニケーション
- ・クレームの未然防止、危険用語
- ・ハードクレームへの対応 等

参加申込はこちらから →
 申込締切 8月16日(金)

※申込締切後でも定員に満たない場合は申込を受け付けます。



福祉の職場のコーチング講座

日 時：令和6年10月18日(金)
 会 場：観光物産館アスパム
 対 象：県内福祉事業所の管理者、中堅職員 等
 定 員：50人
 講 師：(株)アライブ・ワン

代表取締役 後藤 美香 氏
 参加費：会 員 5,000円
 非会員 8,000円

- 内 容：・職員を活かす指導方法とは
- ・働きやすい職場、福祉サービスに活かすコミュニケーション技術
 - ・コミュニケーションの癖を自己分析 等

参加申込はこちらから →
 申込締切 9月27日(金)



掲載している活動について詳しく知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 ● メール：fukushi-net-aomori@aosyakyo.or.jp

● 電話：017-723-1391 ● FAX：017-723-1394

県社協HPに

最新情報

公開中！ ➡



事業紹介

青森県災害福祉支援チーム 青森DCATとは

平成28年10月13日、本県において、「青森県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」を設置し、平成29年2月から「青森県災害福祉支援チーム-青森DCAT-」のチーム員養成、登録のため、毎年研修を実施しております。

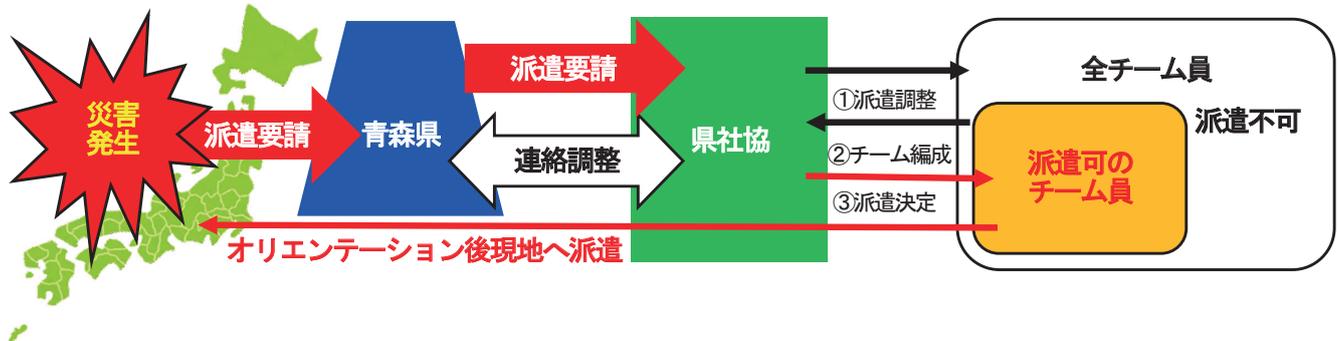
きっかけは「東日本大震災」。地震や津波の影響により甚大な被害をもたらしたほか、多くの避難所が開設されるも、生活環境の劣悪さによる「災害関連死」も多数発生しました。

そのため、DCAT（他県ではDWAT）は、

- ①良好な生活環境の確保
- ②二次被害（災害関連死、生活機能の低下、介護の重症化等）の防止

を目的に、避難所（福祉避難所含む）に派遣され、環境整備、アセスメント等の支援をします。

県内での派遣実績はありませんが、平成30年の西日本豪雨の際に、初めて青森DCATが岡山県へ派遣されました。そして令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」では47都道府県すべてのDCAT・DWATが石川県に派遣され、避難所・者のアセスメントや環境整備、他団体・チームとの連携等、支援を展開しました。



がんの超早期発見は、早期検査から。

世界初 がんのリスク早期発見サービス



尿1滴で全身15種類の
がんリスクも判定

スマート介護なら何でも揃う！
スマート介護
介護・福祉施設向けデリバリーサービス

コスト＆
手間の軽減で
業務効率UP!

充実の商品
ラインナップでサポート
約20,000品

介護施設で働く
すべての皆さまをお手伝い！



CMでおなじみ

世界最強レベルの空気清浄機



株式会社ヒグチで

販売中

お届けしたいのは
期待を超える価値と笑顔です

HIGUCHI **株式会社ヒグチ**

青森市問屋町一丁目 15-22 ☎017-738-3661
八戸市下長 四丁目 5-4 ☎0178-38-8411



がんを克服

病気や
ケガの
備えに



●契約年齢●
0歳～
満85歳まで

※ご契約内容により異なります。

心配な
「がん」の
備えに



—月額保障×サービスでつくる—
新しい形の医療保険
REASON

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈募集代理店〉（アフラックは代理店制度を採用しています）

株式会社RAB企画 ☎0120-55-7064 FAX017-739-3598
〒030-0113 青森市第二問屋町3丁目2-35

- アフラックサービスショップ青森柳町店 〒030-0861 青森市長島2-25-4 ☎017-721-3151
- 八戸支店 〒039-1166 八戸市根城5-5-27 青森放送八戸支社3F ☎0178-43-8610
- 弘前支店 〒036-8355 弘前市元寺町25-1 青森放送弘前支社1F ☎0172-35-1881
- むつ支店 〒035-0033 むつ市横迎町2-16-8 ☎0175-33-8215

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。
Aflac
アフラック
青森支社
〒030-0802 青森県青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビルディング
Tel.017-777-0963 Fax.017-777-0942

AFアツ課-2024-0244-2407009 5月10日



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
看舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)

	定員	基本補償(A型)
基本補償(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円
見舞費用付補償(B型)	基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円	

- 2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
- 2 役員・職員の傷害事故補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
保険会社
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

福祉の担い手に聞く！

福祉の現場で働く方に
福祉職の魅力についてお聞きしました！



「あなたが来てくれて嬉しい」って言われて、
それがすごく嬉しくて。」

「青森しあわせネットワーク」で行っているワークサポートは、就労に困難を感じている人を対象に、意欲向上やきっかけを提供することを目的として、社会福祉施設での職務体験や社会参加活動を行う事業です。

就職まで結びつく例もあり、今回お話を伺った近藤さんもその一人。この事業を通じて感じたことから現在のお仕事の魅力など、実際の声をお届けします。



青森市の特別養護老人ホーム三思園の職員になり現在4年目の近藤さん。寝具の整備や入浴介助など、さまざまな面から利用者さんを支えています。

近藤さんは長く生活保護を受け、市役所の紹介でワークサポートを知りました。友人の「介護に向いてると思う」という言葉もこの仕事への興味のきっかけに。もともとマイナス思考で心配性だと自身を語る近藤さんは、それが原因でワークサポートに行けなくなった時期があったと言います。しかし、三思園側のあたたかく手厚い支援体制と、利用者さんから直接もらう「ありがとう」の言葉や笑顔が、自分の存在が認められる喜び、次も頑張ろうという気持ちをくれた、と教えてくれました。

「ワークサポートを使ったことで、ちょっとずつ体験出来て良かったです。始まる前も始まってからも不安や心配はあるけど、介護の仕事は普通の仕事にはないものが得られます」と話す近藤さん。利用者さんに寄り添い、声をかけながら関わる彼の姿からは、ひとりひとりを気遣う優しい人柄が感じられました。

ふくしワークLINE

福祉・保育のしごとに興味のある方に
向けた情報をお知らせ！



福祉の仕事“あれこれ”出前講座始まりました

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象にした「福祉の仕事“あれこれ”出前講座」を開催しています。現場の職員が講話や演習をとおして福祉施設での仕事の魅力をお伝えします。中学生以上は、施設の職場体験や見学を併せてお申込みいただけます。

詳細は、「福祉ネットあおもり」を検索ください。

車いす体験にドキドキ
楽しく福祉を学ぼう！



～八戸市立城下小学校のみなさん～

保育士向け就職サポート講座&相談会

青森県保育士・保育所支援センターでは、保育分野の就職支援を行うため、9月に講座&相談会を開催します。

講座では、就職時に必要となる費用に充てる貸付制度や現場で実践できる製作物を紹介します。相談会では求人情報の提供や個別相談を行うなど、就職のサポートをします。ぜひ、ご参加ください。

保育士向け就職サポート講座&相談会

開催地	日付・時間	会場
青森市	9月5日(木) 10時～13時	県民福祉プラザ2階 多目的室2B
八戸市	9月10日(火) 10時～13時	ユートリー5階 異業種交流室
弘前市	9月30日(月) 10時～13時	ヒロロ3階 多世代交流室2

詳細は、HP「青森県保育士人材バンク」をご覧ください

【問合先】青森県福祉人材センター
電話：017-777-0012

【問合せ・申込先】青森県保育士・保育所支援センター
電話：017-718-2225

みなさまの善意に感謝！

令和6年1月～6月分 寄附・預託のご紹介



本会では、いただいた寄附金を愛の輪基金事業で受入れしています。

愛の輪基金は、昭和57年に設置された基金で、運用から生じる果実と寄附金を、地域福祉推進のために活用しています。



各地から社協職員が集まり、災害ボランティアセンターの運営を支援します

寄附金の災害支援への活用

災害時には、被災した地域に設置された災害ボランティアセンターの運営支援のため、各地の社会福祉協議会へ応援派遣の要請があります。

被災地へ赴く際には、自己完結が原則です。旅費や車両の確保、活動に必要な備品等を整備し、現地で活躍する職員をサポートしています。この数年は毎年のように、県内外で自然災害が発生しています。皆様の寄附金を活用し、職員の派遣に備えられることは、大変心強い支えとなっています。

全国から様々な支援者が訪れる被災地では、団体名の入ったジャンパーを着た職員には助けを求めやすいということがあります。本会でも応援派遣時には「青森県社協」を背中にプリントしたビブスやジャンパーを着用しています。

そういった備品も皆様からの寄附金を活用しています。

(本会への寄付は、特定公益増進法人への寄付として税制上の優遇措置を受けることができます)

● 青森県社協への寄附

青森県社協が実施する事業や福祉団体への支援等に役立てるための寄附をいただきました

寄附者名 (敬称略)	寄附金額 (円)	寄附者名 (敬称略)	寄附金額 (円)
公認会計士・税理士 小野寺高事務所	81,648	公益社団法人青森県柔道整復師会	100,000
ダイドードリンコ株式会社	23,892	青森銀行従業員組合	100,000
一般社団法人生命保険協会 青森県協会	100,000	東北マスクワールド	30,424
公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 青森県協会	100,000	青森県信用金庫協会	288,194
株式会社ベルジョイス	7,105	ライオンズクラブ国際協会332-A地区	161,424
小林大真	10,000	富士電機(株) J-MOXゴルフコンペ	65,000
一般社団法人東北再生可能エネルギー協会	100,000	東北交通共済協同組合	500,000
下館忠雄	100,000	匿名(7名)	149,600

● 青森県善意銀行への預託

善意銀行を通して福祉施設や団体に金銭や物品等の寄附をいただきました

預託者名 (敬称略)	預託内容	預託者名 (敬称略)	預託内容
青森県労働者福祉協議会	502,090円	富国生命青森支社外野倶楽部	タオル200本
株式会社トヨタレンタリース青森	車椅子24台	青森銀行従業員組合	・使用済み切手260g (1,589枚) ・書き損じはがき計29枚
青森ヤクルト販売株式会社	車椅子20台		
株式会社ツルハホールディングス	車椅子10台	青森県信用金庫協会	使用済み切手7,760g
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 MS&ADゆにぞんスマイルクラブ	車椅子1台	青森スポーツ振興会	みちのくプロレス招待 (R 6.5.4) 100席

● あおもりフードバンクへの寄附

28者49件10,565⁺品の食品の寄附をいただきました

寄附者名 (敬称略)	寄附者名 (敬称略)	寄附者名 (敬称略)
ファミリーマートあおもりアピオ前店	月島ジェイテクノメンテサービス株式会社	ライオンズクラブ国際協会332-A地区
コープあおもり	北日本吉野家	日本非常食推進機構
NTT東日本・青森支店	青森県民生活協同組合	東洋羽毛北部販売株式会社
神戸物産	全国食支援活動協力会	ふうどばんく東北AGAIN
キューピーみらいたまご財団	あおもり桜マラソン実行委員会	キューピーみらいたまご財団
JA青森中央会	株式会社モリレイ	ダイドードリンコ株式会社
カープス	東北農政局	匿名の個人(4名)
みちのくコカ・コーラボトリング株式会社	ホンダ販売労働組合	
青森保健生活協同組合	東日本フード株式会社	

スポットライト



十和田市社会福祉協議会
に令和6年4月から採用
された新人職員

しま けんたろう
嶋 健太郎さんに

スポットライト!



社協に入ったきっかけは？

県外の大学を卒業後、1年半ほど重機をレンタルする会社に就職し、機械の整備などの福祉とは別の仕事をしていましたが、実家の父親が倒れ、地元に戻り看病をすることになりました。父親の看病や介護の手伝いをしている中で、家族以外の困っている人を支援できるような仕事に就きたいと思い始めたことと、地元に戻って仕事をしたいという気持ちがあったので、違う分野の仕事でしたが応募することにしました。今年の4月から十和田市社協の職員として採用されましたが、職場の先輩や上司の方も優しく、仕事の内容も地域の人たちと触れ合う仕事が多いので、今の生活はとても充実していると感じています。

電話対応や来客時には言葉遣いに気をつけて業務に取り組んでいます！



どんな仕事をしていますか

今はフードバンクとボランティア保険に関する受付業務がメインになっています。また、子育て世帯の支援や障がい者の社会促進に向けての事業も担当しています。

フードバンクは入社後からすぐに任されている業務ですが、社協の窓口で食料に困った方が来た際にはお話をよく聞いて必要な食料を渡しています。月で15、6件くらいはあるのですが、中には何日も食べていないという方もいて、その時に渡せるものが無いということがないように在庫の管理には気を付けています。

また、市内の社会福祉法人を通じて、不要となった幼児・児童等の服や学用品などを収集して「みんなのクローゼット」という場で収集した物品を市民の方々

に提供する「子育て支援リユース事業」、障がいのある方々が芸能発表を通じて社会参加の促進と障がい者の福祉の向上を目的とした「ゆめ色フェスティバル」、夏休みの長期休暇で自分の子どもを見守ることができない世帯と、団塊世代の培った経験を伝えていく場所を作ることを目的としてボランティアが子どもたちの見守りをする場を作る「夏休み寺子屋事業」なども担当しています。



6月に実施した「子育て支援リユース事業」ではお菓子のつかみ取りをして盛り上げました！

災害ボランティアセンターでの体験

入社後すぐに石川県志賀町の災害ボランティアセンターに応援派遣されましたが、そこではいろいろな経験をさせていただきました。

災害でのボランティア経験は大学2年生の時に宮城県の豪雨災害でボランティアとして行ったことはありますが、いざ運営側に立つとボランティアさんの人数調整やニーズのアポ取り、マッチングなどボランティアする側では見えない仕事が多くあり想像していたよりもすごく大変でした。

しかし現場の状況をボランティアさんに説明する時には少しでもわかりやすく伝えられるように心掛けて取り組みました。

通常業務でもボランティア保険の受付業務を担当しているので、ここでの経験を生かして業務ができればと思っています。また、十和田市で同じような災害が起こった時には今回の災害VCでの経験を活かして落ち着いて対処できればと思います。

ボランティア活動時に怪我や危険が無いように全体オリエンテーションで説明しています！



今後の意気込み

市内に住んでいる子どもたちや高齢者、障がいのある方が日々の暮らしを楽しんで過ごせるような街づくりをしていきたいです。そのために十和田市社協が行うイベントを盛り上げて幅広い年代から喜んでいただけるような事業を展開していきます。

福祉事業所で働く職員を応援！ こんな研修やってます！



福祉サービス事業所等における 苦情受付担当者、苦情解決責任者向け研修

①の動画を各自視聴してから、②の集合研修を受講する研修です！【参加費：1人3,000円】

①動画講演

「苦情解決の意義とハードクレームへの対応」
配信期間：令和6年9月17日(火)～11月29日(金)
講師：青森県運営適正化委員会委員長
(弁護士) 沼田 徹 氏

②集合研修

「分野別（児童・高齢者・障がい者）サービスでの事例で学ぶ苦情解決への対応方法」
日程：下記のいずれか1日
(障がい者分野) 令和6年10月2日(火)
(児童分野) 令和6年10月3日(木)
(高齢者分野) 令和6年10月4日(金)
時間：12時50分～15時30分
定員：各分野150名

第三者委員、社会福祉事業者等の 経営者向け動画配信研修

①～③の動画をお好きな時に視聴できる研修です！【参加費：1事業所 2,000円】

- ①「苦情解決の意義とハードクレームへの対応」
- ②「第三者委員と使命」(R5年度作成再配信)
- ③「青森県内事業所における好事例の紹介
(第三者委員活動動画(仮))」

配信期間：令和6年9月17日(火)～11月29日(金)
定員：なし

※詳細は本会HP「研修・講座お知らせ」のコーナーに案内を掲載しておりますのでご覧ください。



福祉に関わる皆様へ
ドライバーにもしもの時の安心を



自動車総合共済



- 5% 福祉施設職員割引
- 3% 福祉車両割引
- 10% 福祉施設割引
- 10% 障がい者割引

R 県火災あおもり
青森市新町2丁目8-26 TEL:017-777-8111 (青森本部)



Next innovation
会社が培った情報という財産を次の時代に活かす。

ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本社/青森市大字三内丸山393-270 (西部工業団地内) TEL 017-761-5300
■八戸支店 ■東京支店 ■弘前営業所

100年先もお客さまとともに
あり続けるために

保険を通じて皆さまの「挑戦」を支え、地域とともに成長します

<青森県社会福祉協議会 集団扱い保険制度 取扱代理店>

MS&AD 三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社

【本社】東京 【青森県内拠点】青森支店 八戸支店 弘前支店 むつ支店

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社は MS&ADインシュアランスグループの一員としてSDGsに取り組んでいます。

補助金で設備改修しませんか？

災害対策補助金

脱炭素大規模改修補助金



3/4～10/10補助

1/3～3/4補助

当協会は非営利団体の為、現地調査から申請書作成まで無償としており、また、社会福祉連携推進法人への加盟支援も行っております。

※上記補助金は施設用途によって補助率が異なりますのでお問い合わせください。

一般社団法人
東北再生可能エネルギー協会
【本部】宮城県仙台市青葉区花京院1丁目4-25 TEL 022-794-7040
シティタワー仙台703
【青森支部】青森県弘前市大字高田1丁目5-10 TEL 0172-55-7006
福島支部・岩手支部・山形支部・栃木支部

